

■ 機関紹介 ■

1. はじめに

東海技術センターは、産業公害に対する厳しい世論を背景に、東海地域の行政及び産業界が中心となって、1971年10月に財団法人として我が国最初の公害防止等のための測定分析機関として発足した。

以来、東海地域における環境保全や製品品質管理の中核機関として、社会環境の変化や多様な技術的課題に対応すべく、最新技術の導入や高度な専門性を持つ技術者の育成に努め、その時々地域のニーズに応えてきた。

2011年4月、当センターは、財団法人から一般財団法人へ法人格を移行し、これまでの理念を継承しつつ、新しいスタートを切った。

当センターは、これまで培った調査・測定・分析技術の向上に努め、お客様へ信頼性の高いデータを提供することで、環境の保全と産業の発展に寄与し、広く社会に貢献していくことが、自らの使命と考えている。



一般財団法人
東海技術センター

2. 沿革

- 1971年 通商産業省（現経済産業省）により
設立認可
- 1976年 計量証明事業登録
- 1977年 作業環境測定機関登録
- 1997年 ISO 9001認証登録
- 2001年 ISO 14001認証登録
- 2002年 計量証明事業登録（特定濃度）
- 2004年 ISO/IEC 17025試験所認定
- 2009年 測量業、建設コンサルタント業登録
- 2011年 一般財団法人への移行登録

3. 業務内容

◆環境測定分析

工場排水／環境水／底質／土壌／産業廃棄物／環境大気／排ガス／臭気／作業環境／放射能／騒音・振動

◆水道・食品検査

水道水／食品衛生

◆環境調査

環境アセスメント／自然環境／土壌汚染

◆住環境に係る試験

シックハウス／遮音性能／アスベスト

◆製品品質試験

RoHS・ELV規制／製品VOC／自動車内装材／異物・未知物質／成分分析／建材性能評価

◆建設材料及び地盤に係る試験・調査

コンクリート材料／構造物劣化診断／金属材料／溶融スラグ／骨材／土質／地盤

4. 作業環境測定の実施状況

平成25年度の実績では、愛知県内を中心に延べ単位作業場所数636であった。作業場の種類別の割合は、鉱物性粉じん・石綿33.2%、特定化学物質8.6%、金属類8.0%、有機溶剤42.3%、騒音7.9%であった。

エチルベンゼン、コバルトなど近年追加された物質の測定も増えてきている。

5. 特色・展望

12名の作業環境測定士を有する当センターは、東海地区の行政機関や製造業を始めとする様々な事業所において、職場環境の向上・改善に資する作業環境測定を実施している。

近年では、印刷業界における胆管癌発症の事例を受けた、洗浄剤等に含まれる有機溶剤に関する測定や、「女性労働基準規則」の改正に伴う、妊娠や出産・授乳機能に影響のある25物質の測定など、事業所の状況に応じた積極的なアドバイスを行っている。

<http://www.ttc-web.com/>